授業改善等に関する報告書（2024年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS（Lerning Management System）manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

［2024（前期）生活文化学科　生活心理専攻］授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
キャリア心理学（産業・組織心理学）	塚原　拓馬	本講義を受講して進路について考える機会になったというレスポンスを頂いており、集計結果からも一定以上の満足度を得ることができた。今後はより提供内容の改善に努めていきたい。
医学概論	塩川　宏郷	今年度は、思春期に注目し、思春期医学・思春期精神医学を概説したあと実際の診断面接や治療面接など心理演習につながる内容にしました。資料を見直すなど自主学習を継続してください。
家族関係学	笠原　良太	心理学専攻の学生向けに「家族」について教えることは容易ではない。しかし、家庭科教員を目指す学生を中心に、意欲的に受講してくれたおかげで、スムーズに進めることができ、全体的に肯定的評価を得ることができた。来年度も初学者向けにわかりやすく、基本的な内容を教授できるように心がける。
家族社会学	笠原　良太	意欲的な学生とそうでない学生との差が大きく、授業レベルの調整が難しかったが、全体的に肯定的評価を得ることができた。来年度はあまり全体の理解度を気にせず、意欲的な学生を対象に深い内容で構成する。
家族心理学（社会・集団・家族心理学ｂ）	澁谷　泰	みなさん前期の講義お疲れ様でした。 家族心理学（社会・集団・家族心理学ｂ）の講義受講ありがとうございました。 授業内容と方法について シラバスとの内容やスピードなどは適切であったと思いますが、集計結果としてはもう少しパワーポイントなど、配布方法、見やすい工夫やわかりやすい工夫があると良かったと思っています。 全体について 総合的に満足をしてもらえるような授業であったと思いますが、集計結果としては成長実感や自己成績評価、学びとつなげるとズレがあった結果となります。ディスカッションや質問や感想へのリアクションを通して多面的な理解を深め、成長を実感でき、学びとなったと感じれるように内容の充実を目指していきます。 コメントからは、「わかりやすい」「理解が深まった」「客観的」「論理的」などのキーワードが多く、講義内容を前向きに捉えて頂いていることで励みになりました。引き続き、事実やデータから、物事にある背景の理解、様々な視点を学べる講義を行っていければと思います。 パワーポイントや資料については、文字の大きさや色、ホッチキス止めなど、もっと工夫できるところがありました。今後の課題とさせて頂きます、ご指摘ありがとうございました。
家族臨床心理学１	稲森　絵美子	授業を通して、家族が変化・成長していく可能性と、人の発達過程において家族が果たす心理的役割について、それぞれがよく学んでくれたと感じています。身近な問題として、よく考察を深めてくれました。
家庭経営学	高橋　桂子	経済や法律など、これまであまり勉強してこなかったし、生活心理専攻に入学して、まさか数字、統計を学ぶことになるなんて・・！という驚きの声が聞こえてくるようです。それもあり、双方向になるように、何でもモノをいうことができる自由な雰囲気での講義を心がけました。よく頑張ってくれました！
基礎演習２（科学的思考法とコミュニケーション）	作田　由衣子	この授業はグラフを作ったり文献を読んだり色々なことをしなければならないので大変だったと思います。Excel操作やレポート作成についてはこれから他の授業でも必要になってきますので、難しかった、うまくできなかったと思った方は、ぜひ復習してみてください。
公認心理師の職責	富田　望	この授業は、公認心理師の業務を理解するための基礎となる科目ですが、全体的に理解度や成長感が高く、多くの学生が授業の目標を達成したように感じました。予習・復習時間の確保に多少のばらつきがある可能性が考えられましたので、課題の提示の方法を工夫していきたいと思います。
社会心理学２	水野　いずみ	発表やresponへの書き込み回数が多めの授業で大変だったと思いますが、１限目からよく取り組めていました。
心理学概論１	作田　由衣子	考える力が身についた、心理学についての理解が深まったなどのコメントが多く見られました。ぜひ今後も自分なりに考えながら授業を受けてもらえたらと思います。ペーパーレスに関しては試行錯誤中ですが、配布資料や試験への持ち込みの仕方については今後検討したいと思います。
心理学研究法入門１（心理学研究法）	作田　由衣子 中山　友則	統計の基本的な考え方が身についたなどのコメントがみられました。ぜひ、今後の学びに生かしていただければと思います。後期の統計法の授業も頑張りましょう。

［2024（前期）生活文化学科　生活心理専攻］授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理検査法１（心理的アセスメントａ）	佐藤　恵美	この演習を受講いただき、ありがとうございました。 演習なので自分で実施する内容が多く、大変だったと思います。 また後期もわかりやすい資料作成と説明を心がけていきます。 ありがとうございました。
心理調査法１	水野　いずみ	授業内演習に加えて、予復習も多くてかなりハードな授業だったにもかかわらず、着実にしっかり取り組めていました。
人体の構造と機能及び疾病	塩川　宏郷	人体の構造と機能とそれに関連した疾患について臓器別に解説する内容を提供しました。初日にお話ししたとおり字が下手なので板書はなるべくしないことにしています。口述内容をノートしてください。画像については著作権の問題で資料として配布できないので、インターネットを利用して自主的に学習してください。
生活デザイン入門	高橋　桂子 久井田　直之	この講義は統計とTOEICと、異なる科目の組み合わせで、どちらも苦手、という学生さんに、敢えて履修を勧めているものです。そのような中、期日までに2つの科目の提出を何とか頑張ってくれました。大きな力になると思います。これからも頑張ってください。
生活経済論演習	高橋　桂子	ＦＰ3級合格にむけての初年度の講義。いかがでしたでしょうか。5名の皆さんから合格（一部合格）との報告を受けています。勉強の仕方がわかったと思います。惜しくも6割に届かなかった方は、是非、再チャレンジしてみてください。
生活心理フィールドワーク２	塚原　拓馬 作田　由衣子 水野　いずみ	しっかり取り組めています。後期もよろしくお願いします。
生活心理演習（大学から社会へ）	高橋　桂子	16人履修で記入が3人しかありませんでした。3名の皆さん、沢山コメントも書いてくれてありがとうございました！ 13名の皆さん、せっかく「企業訪問をすると礼状を書く」というマナーパターンを体得してきたのですから、講義についてもきちんと対応して欲しかったです。この点が少し残念です。
生活心理研究計画法	水野　いずみ	後期に数回授業が残っていますので、進路状況に合わせて実施予定です。それぞれの進路に合わせて取り組んでみてください。
知覚・認知心理学ｂ	作田　由衣子	今年からペーパーレス化となりましたが、配布資料や試験への持ち込みについては今後検討したいと思います。
発達心理学	奥村　桃子	授業スピードや説明・パワーポイント・配付資料のわかりやすさについてや、声や言葉の聞き取りやすさについて、約8～9割の学生が「大変満足」「どちらかといえば満足」と回答していた。日頃から授業を進めていくうえで、意識していた項目内容だったため、今後も引き続き意識してわかりやすい資料作りや講義方法について研鑽を積んでいきたい。また、授業理解の割合においても、約9割の学生が「十分に理解できた」「ほぼ理解できた」と回答しており、本項目については前述の満足度に応じて学生の理解が進んだということではないかと考える。 さらに、この科目をさらに学びたいと思ったかについては約9割５分の学生が「さらに学びたい」と回答してくれており、本授業を通して「発達心理学」への興味・関心を深めてくれたことは、全14回の授業を行った意義があるといえる。今後もより、学生が興味・関心を持てる内容、講義の進め方、資料作りなどに努めていきたい。 ただ今回、アンケート回答者の人数が受講者の半数もいなかったことが問題点としてあげられる。そのため、受講者全員の意見とはいえない側面がある。この点については、アンケート実施時期だけでなく、普段から授業について学生が能動的に意識を向けられるようなアプローチをしていきたいと考える。
臨床発達心理学１	稲森　絵美子	授業内発表など、多くの学生が、積極的に取り組んでくれました。授業課題を調べる中で、興味をもったことについて、続けて学んでいってもらえたらと願っています。